



国際ロータリー第2790地区
The Rotary Club of Yachimata
八街ロータリークラブ週報

<http://www.joy.hi-ho.ne.jp/yachimatarc/>

例会場 八街商工会議所 3階 大ホール
毎週水曜日 12:30~13:30
電話 043 - 443 - 3021
FAX 043 - 443 - 7221
創立 1966年(昭和41年)5月22日



国際ロータリー会長
K.R.ラビンドラン
(スリランカ・COLOMBO RC)

会長 西村 清 ・ 会長エレクト 鎌形 芳法 ・ 副会長 萬来 謙一 ・ 幹事 福田 守

第50巻 第25号

通巻 第2411号

28. 2. 24発行

第2410回 2016年2月17日例会報告

【出席報告】

SAA 荒木 由光

【会長挨拶】

会長 西村 清

例会	出席計算 会員数	出席	欠席	出席率%	MU	修正 出席率%
2/ 17	29	22	7	75.86		
2/ 3	29	23	6	79.31	1	82.76
会員総数 36名 (内名誉会員 4名 ・ 出席免除会員 10名) 通算出席率 89.37% * 2/3メーカーキャップ1名・山本会員(補助金セミナー)						



点 鐘 会長 西村 清

ソ ン グ 我等の生業



【ニコニコボックス】

◇旦那様誕生日 ・西村 頼子会員

◇結婚記念日 ・山本 和男会員

◇100%出席 30年で表彰されました。
高橋 宏一会員

毎度お天気の話から御挨拶申し上げますが、いよいよ寒暖も激しくなり、即ち春の訪れになるのが通例の季節になりました。

ロータリー千葉県全体の地区大会:国際ロータリー第2790地区2015-2016年度地区大会が2月6日、7日に幕張にて開催されました。皆様方も数多く参加され、多くのロータリアンと旧交を温められたことと思います。私も6日土曜日の会長幹事会に列席いたしまして、大いに勉強をするとともに八街ロータリークラブのPRに努めたと思います。例えば会長はロータリーの話で例えて是非するように申し上げたが、皆さんやっているでしょうか?というお話しに対し、八街は①気象のお話②ロータリーの関連③時事放談ですとお答えしました。また50周年の活動については、ガバナーのスケジュール手帳も間違いなく確認いたしましたし、夕食会の同席グループには内容などを上手に漏らして、お誘いに努めてまいりました。なお13日の土曜日には習志野中央ロータリークラブさんが創立25周年記念を幕張ニューオータニで開催され、ちょうど森田県知事の勉強会が隣の会場で出席しておりましたので、受付で御挨拶と

パンフレットを頂戴してまいりました。なお県知事は祝電のお約束はしていただきましたので、小川委員長におかれましては、招待状をお出しになることを忘れないように願います。また先般アイデア提供いたしましたクラブの歴史を語るスライド上映は習志野でも行われたようでございます。ぜひ八街でもお願いしたく存じます。

最後になりましたが、2月7日は午前中に八街市表彰式で全国大会以上に出場した黎明高校生徒(陸上、アーチェリー、ソフトボール)が表彰され、午後は皇太子殿下ご出席の修養団110周年記念式典に本校が特別表彰を受けたため、地区大会を欠席させていただきました。当日は雅子妃殿下もお元気に臨席されたことをご報告申し上げます。

本日は大野会員が宮司を務められ、私も名誉総代をいただいている八街神社では祈年祭が無事終了いたしました。日本が皇統を大事にいつまでも平和国家であるよう、ロータリーの活動とともに期待するところであります。

◎会長エレクト研修セミナーのご案内
日時:2016年3月26日(土)10:00点鐘
会場:成田ビューホテル

◎台湾地震への義援金のお願い
・会員1人あたり、500円程度
・クラブの合計は1万円を下回らない程度

◎地区大会のお礼状

◎千葉黎明高等学校卒業証書授与式のご案内
日時:2016年3月1日(火)午前10時開式
式場:黎明高校 体育館

◎NHK歳末たすけあい募金お礼状

◎受贈週報等
・富里RC ・成田コスモポリタンRC ・八日市場RC
・白松の郷 ・ちば里山新聞

【幹事報告】

幹事 福田 守



◎第9分区ゴルフコンペのご案内
日時:2016年4月21日(木)7時30分集合
会場:レイクウッド総成

◎会長幹事会のご案内
日時:2016年3月10日(木)18時
場所:京料理 花むら

◎次年度第1回会長幹事会のご案内
日時:2016年3月8日(火)18時
場所:ラディソンホテル成田

◎インターアクト合同会議のご案内
日時:2016年3月11日(金)14時～
会場:千葉市文化センター会議室

【表彰】

高橋 宏一会員



高橋 宏一会員が30年間 100% 出席で表彰されました。この年月はとても長く、なかなか出来るものではありません。高橋会員の努力とロータリー愛がすばらしく感じられます。

次年度はガバナー補佐の大役で大変だと思いますがお身体に気を付けて、また40年出席に向かってがんばってください。

【R財団寄付表彰】

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

会員名	回数
青柳 十兵衛	2回目
樋渡 琢也	2回目
大野 眞里	3回目
高橋 宏一	5回目
丸本 暢雄	1回目
塩野谷 征三郎	2回目
萬来 謙一	1回目
福田 守	1回目
平野 雅敏	1回目
鎌形 芳法	1回目



マルチプル・ポール・ハリス・フェローのみなさまと西村会長

*ポール・ハリス・フェローとは・・・年次寄付または使途指定寄付、あるいはその合計で1,000ドル以上寄付した人

*マルチプル・ポール・ハリス・フェローとは・・・ポール・ハリス・フェロー認証後1,000ドル寄付するごとにマルチプル・ポール・ハリス・フェローになる。

*例・・・青柳会員の場合、2回目なのでポール・ハリス・フェローの1,000ドルとマルチプル2回の2,000ドルを足して合計3,000ドル寄付したことになります。

【会員卓話】

高橋 宏一会員

～日本一の採種地だった千葉県北総台地～

この度私どもの業界紙である「種苗界」10・11月合併号に、私が寄稿した記事が6ページにわたり掲載されました。この業界紙は種苗業界の全国組織である「一般社団法人 日本種苗協会」が毎月発行し、全国の会員に配布されている雑誌であります。

その雑誌の編集委員を務めている埼玉の業界の先輩から、千葉県がかつて日本一の採種地(タネ採り場)であったことが今の業界の人たちで知っている人がほとんどいなくなってしまうので、そのことについて是非「種苗界」に寄稿して欲しいと前々からいわれておりまして、それについては私もかなり固辞していたのですが、再三の要請でもあり、今年の夏やっとなりパソコンに向かいキーボードをたたき始めました。

千葉県の業界の歴史を書くとなる、結局私の先祖のことについて書かざるを得ないので、以前からお断りしていたのですが、「昔のことをある程度知っているのは高橋しかいないし、資料も残っているだろうから是非記事にして欲しい」と言われましてまとめたものが今回の記事でございます。



3ヵ月ほど前の昨年11月1日にこの雑誌が全国に配布されました。早速多くの業界の知り合いからお褒めの言葉を頂戴し、やはり書いてよかったなと思いました。

皆様にその記事のコピーを配布させていただきましたが、内容については少し細かいし、専門用語も多いです。お帰りになってからゆっくりご覧いただき、八街の農業とタネ屋の歴史の一コマを知っていただければ幸いです。

自分の先祖の事は個人的なことです。それよりも

八街を中心とする北総台地が、昔は今では信じられないほどの採種用の畑があり、その種がほとんど八街に集荷され全国に発送されていたということです。

先日私の父と母の法事を行いましたので、その時に親戚にもこの本を配りました。私にも叔父叔母がまだ二人健在で、これを読んだ叔父叔母も非常に喜んでいただきました。

またこの記事が(原会員も携わっております)「八街郷土史研究会」の会長である高橋誠一さんの目にとまり、会誌「郷土八街」第29号に掲載されることになり、本年5月に上梓される予定です。著作権が日本種苗協会にありますので郷土史研究会の方で、すでに種苗協会に対し転載する許可をとっていただきました。高橋誠一さんからも「なんとも貴重な内容で、今更ながら千葉県農業を学ぶ機会を与えていただき感謝申し上げます。」というお言葉をいただきました。

通常野菜のタネを採るといふことは、食用に供する野菜を栽培することとは相反することなのです。葉物類といわれるホウレンソウやキャベツ、白菜、小松菜などや、根菜類と言われるダイコンやニンジン、ゴボウ、カブなどは、種を採るためには花を咲かせなければタネが採れません。しかし生育途中で花が咲いてしまったらホウレンソウやダイコン、ニンジン等は食用にならなくなってしまいます。タネ採り栽培と野菜栽培とは両立しないのです。また果菜類と言ってトマトやナス、キュウリ、トウモロコシや豆類であるインゲンや豌豆、枝豆などは花が咲いた後に付いた実が未熟なうちは野菜といわれますが、完熟したものは果菜類では野菜とは言いませんし食用には使えません。熟した豆類やトウモロコシはタネであり穀物扱いになってしまいます。このように野菜栽培と採種栽培は相反することになりますのでタネ屋が成り立っているのです。

私の所では、当時は今でいう運送屋としてお抱えの馬車屋が数軒ありました。西神明町の能瀬さん(今は伊藤さんといいます)や六区(昔は駒返しと言っていた)の岸さんらには非常にお世話になっていたと聞いております。

また丸通にいた石橋さんからは「昔は6月から8月頃は八街駅のホームはタネであふれていたよ」と聞かされました。当時は今のような自動車便はなく、客車便と言って客車の一部を仕切ったり、荷物車として1両連結して荷物を運送していました。紙の荷札だと途中で針金から破れたりしてなくなってしまうので、薄い板の上下に手回しのドリルで穴をあけ、その板に毛筆で送り先を書いて麻糸で荷物にくくりつけて発送していました。

この記事の中に戦中から戦後の統制時代に八街に千葉種苗統制会社という会社があり、多い時には30人ほど社員がいたと書いてありますが、その社員の中には

小川会員のお母さんや、八街観光さんのバスの運転手であった金杉さん、中華料理屋の関内軒の前にあったナカヤ洋品店の佐久間さんご夫妻、駅前に住んでおられた綿貫徳さんらが社員であったと聞いております。伊藤嘉一会員もよく言っていますが、牛蒡タネの採種経験があるようです。

私が子どものころ、夏になると私の父はよく長野県(信州)の塩尻(東筑摩郡)周辺や山梨県の八ヶ岳山麓の野辺山高原の開拓地へよく出かけていました。今では高原野菜の大産地になっている小海線沿線などです。

それはこの中の記事にも書いてありますが、大根のタネの売り込みとタネ代金の集金、それに大根のトウ立ちのクレーム処理にも良く行っていました。新宿発11時頃の夜行列車に乗ってまだ暗い3時頃に小淵沢の駅で降りて、暗い中を小海線の始発の汽車を待ってそれで川上村や野辺山村へよく行っていました。その頃は山梨と長野の大根のタネのシェアは、かなりの部分が私どもで握っておりました。そんな関係で我が家では中信地区(長野県松本平)、群馬県嬭恋村には今でも懐かしい思い出があり、今も私はよく長野方面へ出かけます。

とにかく八街を中心とする北総台地は農業には恵まれた土地であると思っております。そして八街は昔からタネ屋の集積が多いことで全国に有名です。タネ屋だけではなく、落花生を初めとする農産加工業、肥料農薬販売店、農機具店、サトイモや生姜等の取扱業者や仲買人、倉庫業等が多く、それらの業者の皆さんは印旛地域はもとより、千葉市の若葉区、緑区から、山武、成田空港の東の香取方面までが商圏となっております。

千葉県内には日本種苗協会の会員は現在85社ありますが、そのうち11社が八街に店舗や営業所を構えています。一つの自治体にタネ屋が11社も集まっている自治体は全国一です。ほとんどの自治体では1社あるかないかの業界なのです。朝日区にあるカネコ種苗は、本社は前橋にありますが、総売り上げは現在日本一でございます。その千葉支店が八街にあるわけです。それほど八街はタネと資材が売れるところなのです。私の所も創業117年、法人化して68期目になっております。先月息子に代替わりしまして5代目になりました。少なくとももう一代はタネ屋としてやっていけるのではないかと考えております。

今日は拙い私の卓話をお聞きいただきありがとうございます。

記事の中の単位について

1石=180 l (1斗=18 l 1升=1.8 l) 1貫=3.75kg \div 4kg

1反=300坪 \div 約10a=1000 m^2 1町歩=3000坪 \div 1ha
現在タネはすべてメートル法または粒数販売に統一されております。